高松市立下笠居小学校五色台分校　体力向上プラン

【学校教育目標】

自らを見つめ、主体的に挑戦する児童の育成

【現状】

○　五色台分校は児童心理治療施設である若竹学園の入所児童の学校教育の充実をめざして、令和５年４月に開校した。若竹学園に入所している児童は、様々な背景や要因を抱え、生活習慣が乱れていた児童も多い。また、運動習慣が身に付いておらず、入所後の体育活動に抵抗を示す者も少なくない。

○　毎朝体操を行い、規則正しい生活習慣を確立することができている。

【現状分析と本校の課題】

○　**どの種目においても、おおむね県平均を下回っており、総合判定もＣ・Ｄの児童が多い。**

○　運動場が狭く、体育用具などが準備できていなくて、運動できる環境になっていないことが課題である。

○　原籍校に在籍した時に、運動する習慣が確立されていなかった児童が多く、走る・投げる・飛ぶといった運動の基本動作がぎこちない児童も多く見られる。またルールを守って、１つの種目や課題に集中して取り組むことが難しい児童が多く、継続して活動していくことも課題の１つである。

若竹学園との連携による体力向上に向けた取り組み

【基本的な生活習慣の確立】

○　起床、就寝時刻の徹底、朝昼夕に栄養バランスの取れた食事を残さずきちんと食べる。

○　余暇や毎日の自習時間の確保など、規則正しい生活を送る。

○　挨拶、敬語などの言葉づかい、時と場に応じた礼儀を日々の生活の中で学ぶ。

○　毎朝の体操を真剣に取り組む。

【体育活動の実施】

○　体力テスト
- 校外の施設を利用して実施
- 道具は、本校から借りて実施

○　水泳
- 校外の施設を利用して実施

○　マラソン
- 五色台周辺の場所のランニング

○　カヌー教室
- カヌーを通しての体力つくり

○　ボール遊び
- 児童、職員合同でチームを作り、レクレーションを行う。

目標の設定 → 活動の実施 → 評　価 → 改　善

※一人一人が具体的な目標をもって運動に取り組み、ＰＤＣＡサイクルによって活動の充実を図る。

【目標】

○　一人一人が目標を持って、主体的に運動にかかわり、体力の向上を図る。

○　自然の中で心身の成長やなかまとの絆を深める。

○　様々なスポーツを経験し、生涯にわたってスポーツに関わろうとする態度を育てる。